

「サイバーセキュリティ月間」記念

第20回セキュリティセミナーのご案内

*とき : 令和 8年 2月13日(金曜日) 13:00 (12:30~接続可能) ~17:30
*ところ : ときめいと(現地参加を希望される方(最大100名程度迄(予定)) 及び
オンラインセミナー((最大400名程度迄) メールで申込頂いた方に参加ID等の情報を受け付け
処理後発送します。)

*第一部(13:10~15:10 120分 途中10分の休憩を挟みます。)
講師 : 総務省サイバーセキュリティ統括官室 参事官補佐 三宅 雅矩(ミヤケ マサノリ)様
演題 : 「総務省におけるサイバーセキュリティ政策の最新動向」(仮題)

*第二部(15:20~17:20 120分 途中10分の休憩を挟みます。)
講師 : 落合 博幸 先生
演題 : 「生成AI時代のフェイク情報とダークパターン
— サイバー空間で私たちの判断はどう誘導されているのか —」

*募集人員 : 500名(リアル講義100名+リモート講義400名)まで
(若い方からお年寄りの方まで幅広い年齢層を募集しております。また、リモート講義は国内におけるエリアを問わず受講の応募をお待ちしております。)

= 事前にメールでお申し込みが必要です。 =

*参加費 : 無料

*第二部講師 落合 博幸氏 プロフィール



新潟大学人文学部卒
株式会社ラック サイバー・グリッド・ジャパン ICT利用環境啓発支援室
新潟県警サイバー犯罪対策アドバイザー
新潟県サイバー脅威対策協議会 幹事
新潟大学 特任教授
開志専門職大学 非常勤講師
敬和学園大学情報メディア研究所 客員研究員
情報セキュリティワークショップ in 越後湯沢 大会副委員長

*講演内容

「インターネットやSNSの普及により、フェイク情報や詐欺、誤認を誘う表示や操作が身近な問題となっています。特に生成AIの発展により、文章や画像、音声を本物と見分けがつかない形で作成できるようになり、被害はより深刻化しています。

本講演では、前半にフェイク情報をめぐる国内外の事例を紹介し、生成AIがフェイク情報や詐欺にどのように悪用されているのかを解説します。後半では、利用者を意図せず不利な選択へ誘導する「ダークパターン」について、その歴史や代表的な事例、欧米および日本の法規制の動向を説明します。

日常生活の中で情報を正しく見極め、被害を防ぐために必要な視点や注意点をお伝えします。

*主催 : 特定非営利活動法人 新潟情報通信研究所、信越情報通信懇談会

*共催 : 総務省 信越総合通信局

*後援 : 新潟大学 工学部工学科 知能情報システムプログラム、開志専門職大学

*参加申し込み(ホームページ 移行中 もご覧ください)

メールにてお申し込み下さい、お問い合わせもメールで!

メール niigata.icl.npo@gmail.com

(担当 高橋)